

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エヌエフ回路設計ブロック
 コード番号 6864 URL <http://www.nfcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 常夫
 (氏名) 大滝 正彦

TEL 045-545-8101

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,497	2.4	247	4.4	245	2.7	175	20.2
25年3月期第1四半期	1,462	11.2	236	14.4	238	18.4	145	33.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 133百万円 (△3.6%) 25年3月期第1四半期 138百万円 (16.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	30.08	—
25年3月期第1四半期	25.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,524	5,243	61.5
25年3月期	8,868	5,198	58.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 5,243百万円 25年3月期 5,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,100	2.1	420	1.2	410	0.6	250	1.1	42.93
通期	7,000	6.0	870	4.0	860	3.0	510	1.3	87.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	6,270,000 株	25年3月期	6,270,000 株
26年3月期1Q	447,123 株	25年3月期	446,024 株
26年3月期1Q	5,823,214 株	25年3月期1Q	5,824,707 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
1株当たり予想当期純利益は自己株式を含めて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)におけるわが国経済は、米国内需の回復基調をはじめ、景気刺激的な経済政策や日銀の量的・質的金融緩和等によって、企業の景況感や収益状況には改善が見られたものの、輸入原燃料等の価格上昇や欧州の停滞持続、中国の減速などもあり、依然先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境下、当社グループにおきましては、従来からの強み製品を中心として、環境・エネルギー関連等好調な市場にフォーカスする等、鋭意拡販に取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,497百万円(前年同期比2.4%増)、損益面では経常利益245百万円(前年同期比2.7%増)、四半期純利益175百万円(前年同期比20.2%増)となりました。

② 営業の分野別状況

当第1四半期における営業の分野別状況は、次の通りであります。

《電子計測器分野》

電子計測器分野では、当社の強み製品であるファンクションジェネレータが堅調に推移したものの、LCRメータが電子部品市場等において、また周波数特性分析器が家電市場等において全般的に需要面の力強さに欠ける状況で推移しました。

以上の結果、電子計測器分野の売上高は212百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

《電源機器分野》

電源機器分野では、保護リレー試験器RX4744を上市するなど、製品の積極的な拡販活動を実施しておりますが、当四半期においては、系統連系関連装置用としてのESシリーズは堅調に推移したものの、コンパクト交流電源が需要面の力強さに欠ける状況で推移しました。

以上の結果、電源機器分野の売上高は597百万円(前年同期比2.4%減)となりました。

《電子部品分野》

電子部品分野は、当社が得意としているアナログ技術をベースにしたカスタム製品が主で、新製品の拡販に注力し、社会インフラ向け市場等は堅調に推移しましたが、大学等の研究分野は需要面の力強さに欠ける状況で推移しました。

以上の結果、電子部品分野の売上高は278百万円(前年同期比3.2%減)となりました。

《カスタム応用機器分野》

カスタム応用機器分野では、当社の強みである計測技術と電力制御技術を駆使した各種電源装置から各種システムに亘る環境・エネルギーソリューションを積極的に展開しており、当四半期におきましては、系統連系関連装置等が好調に推移しました。

以上の結果、カスタム応用機器分野の売上高は333百万円(前年同期比24.7%増)となりました。

《その他分野》

この分野は、修理・校正および仕入商品の売上が主なものです。

その他分野の売上高は75百万円(前年同期比9.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産)

当第1四半期連結会計期間の総資産は棚卸資産が増加したものの、売上債権、投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度と比較して344百万円減少し、8,524百万円となりました。

負債は前連結会計年度と比較して、390百万円減少し3,280百万円となりました。

純資産は前連結会計年度と比較して、45百万円増加し5,243百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、米国を中心に総じて底堅い回復が続くと期待されるものの、欧州は引き続き後退局面が続くと予想され、中国においても景気減速懸念が強まるなど、総じて懸念点を拭いきれない状況が続くものと考えております。また、国内においては、このまま景気回復は底堅く推移していくものと期待されるものの、当社が属する計測器業界においては、その設備投資の回復にはやや弱含みの懸念がまだあり、当社グループを取り巻く環境は引き続き予断を許さないものと考えております。

このような状況のもと、当社グループでは環境変化にさらに俊敏に対応すべく事業全般の効果・効率を一層高め、新製品の継続的上市、新製品を含む強み製品の拡販、原価・経費低減等を引き続き強力で推進してまいります。

開発面では特に電子計測器、電源機器の製品ラインアップ強化を図ってまいります。また、販売面では各営業拠点の販売、サービス機能の拡充を図るとともに、顧客へのソリューション提供活動を強力で展開してまいります。

なお、当社は平成25年7月26日に公表しましたとおり、株式会社千代田（本社：埼玉県蕨市錦町1丁目3番11号。代表者：代表取締役社長村岡正一氏。）の株式を平成25年10月1日に取得する予定です。この場合、当社グループ連結業績予想への影響はありますが、現時点では数値が未確定のため、確定次第お知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,275,482	2,430,548
受取手形及び売掛金	2,285,111	2,040,455
商品及び製品	502,031	604,988
仕掛品	512,817	522,038
原材料	473,731	467,461
その他	269,642	184,682
貸倒引当金	△38,725	△36,917
流動資産合計	6,280,092	6,213,257
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,168,541	1,168,541
その他(純額)	661,775	659,977
有形固定資産合計	1,830,317	1,828,518
無形固定資産	142,893	143,331
投資その他の資産	615,683	339,123
固定資産合計	2,588,893	2,310,973
資産合計	8,868,985	8,524,231
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	655,442	582,964
短期借入金	14,400	14,400
未払法人税等	191,373	39,162
賞与引当金	231,160	102,743
役員賞与引当金	27,270	—
受注損失引当金	2,960	1,890
その他	707,173	698,210
流動負債合計	1,829,780	1,439,370
固定負債		
社債	540,000	540,000
長期借入金	924,400	920,800
退職給付引当金	105,937	110,740
長期未払金	108,432	101,606
その他	161,863	167,818
固定負債合計	1,840,633	1,840,964
負債合計	3,670,413	3,280,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	910,000	910,000
資本剰余金	1,177,500	1,177,500
利益剰余金	3,244,129	3,331,946
自己株式	△197,427	△198,103
株主資本合計	5,134,202	5,221,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,369	22,552
その他の包括利益累計額合計	64,369	22,552
純資産合計	5,198,571	5,243,895
負債純資産合計	8,868,985	8,524,231

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,462,543	1,497,277
売上原価	788,094	829,384
売上総利益	674,448	667,893
販売費及び一般管理費	437,531	420,568
営業利益	236,917	247,324
営業外収益		
受取利息	470	498
受取配当金	11,447	6,326
その他	2,171	2,552
営業外収益合計	14,088	9,377
営業外費用		
支払利息	8,308	7,933
売上割引	2,795	3,177
その他	1,001	324
営業外費用合計	12,105	11,436
経常利益	238,900	245,266
特別利益		
投資有価証券売却益	—	52,568
特別利益合計	—	52,568
特別損失		
固定資産除却損	1	0
投資有価証券評価損	—	250
社葬費用	—	8,377
特別損失合計	1	8,627
税金等調整前四半期純利益	238,898	289,207
法人税、住民税及び事業税	34,660	47,243
法人税等調整額	58,559	66,787
法人税等合計	93,219	114,030
四半期純利益	145,678	175,176

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
四半期純利益	145,678	175,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,285	△41,816
その他の包括利益合計	△7,285	△41,816
四半期包括利益	138,393	133,360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138,393	133,360
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。